



ひがしの子

親子ふれあいフェスティバルにご参加くださり ありがとうございました！

5月18日曜日は、親子ふれあいフェスティバル（地域ウォークラリー）に、ご参加くださり、ありがとうございました。前日の土曜日は大雨で、どうなることかと心配でしたが、実施できて良かったです。子どもたち、保護者の皆様の笑顔がたくさん見られました。この長森という地域は、とても温かく、幼稚園のことも大事にしてくださっています。その幼稚園の周りをウォークラリーで回することで、幼稚園の周りのことを知ったり、地域のものづくり名人や、田んぼや畑の名人と触れ合ったり、虫などの生き物を見つけたりと、興味が広がったりしたのではないかと思います。ウォークラリーの本来の楽しさを大事にし、お子さんの発見や興味に寄り添いながら、チェックポイントを回ってくださりありがとうございました。

行事の後も、クラスで見つけた宝物について話したり、年中さんは琴塚古墳への園外保育に行ったりと、遊びや気持ちはつながっていました。今後も親子での行事がありますので、ぜひ、楽しく参加してくださいね。



5月のある一場面から・・・

※琴塚古墳に行ったよ！ なつめ組

最近、虫への興味が高まってきたなつめ組。ウォークラリーで地域を歩いたこともあり、琴塚古墳に出かけることになりました。“自分で虫を捕まえたい”という気持ちも強い子もいます。タモ（捕虫網）も持って出かけました。

古墳では、モンシロチョウやモンキチョウといったチョウチョウの仲間や、ガの仲間、バッタの仲間、カマキリなどの虫に出会いました。草花を集める子や、先生に教えてもらった草相撲をする子、ドングリを拾う子など、それぞれの楽しみ方をしていました。今までそこまで虫に興味がなかった子も、友達の姿から、タモを借りて捕まえようとする姿も見られました。



この写真は、アリの大行列を発見したところです。小さなアリが白い何かを持って、巣に向かって行列を作っていました。それはとても忙しそうでした。そんな忙しそうな、大量のアリに、私たちは魅せられました。子どもたちも、とても興味をもって、キラキラした目で行列を追っていました。「ご飯を運んでいるのかなあ。」「おうちに行くんじゃない？」などと、アリの行先に思いを馳せていました。

琴塚古墳では、様々な虫や植物との出会いがありました。初めて自分でチョウチョウを捕まえられた子もいました。“楽しい”がいっぱい詰まった琴塚古墳。ちょっと木が大きくて暗い感じはありますが、素敵な場所です。

岐南工業高等学校の学生さんが遊びに来てくださいました・・・

今年度、岐南工業高等学校の建築工学科の学生さんが、幼稚園の園庭で使えるような木製の遊具（キッチン？テーブル？）を制作くださるというお話をいただきました。学生さんが作ったアンケートに、私たち職員が、子どもたちの実態や希望などをお伝えしました。そして、先日、子どもたちの実態や遊びの環境を知るために、学生さんが園に遊びに来てくださいました。高校生のお兄さんたちは、優しく子どもたちの思いに沿いながら遊んでくれました。年少さんが高校生に「何歳なの？」と尋ねたりする姿もおもしろかったです。日頃、なかなかかかわることのできない学生さんとの交流は、憧れの気持ちももてたのではないかと思います。様々な方々こうして触れ合う機会は、今後も大事にしていきたいと思います。



お別れの時に、「また遊びに来てね。」と名残惜しそうでした。

畑サポーター発足しました・・・

先日、お手紙で畑サポーターを募ったところ、10名以上の方が登録してくださいました。さっそく、説明会兼顔合わせを行いました。

その後、畑に行って、サポーターさんの畑の場所を確認しました。芽かきやジョーロの清掃などをしてくださいました。ありがとうございました。

畑サポーターさんの畑には、今、オクラとジュウロクササゲが植えてあります。親子一苗とは違う種類の夏野菜です。収穫はサポーターさんがされますが、親子でどんな植物か、どんな生長をするのか、見ていただくのもいいですね。

ところで、幼稚園の畑は名前があるのをご存じですか？「ひまわり農園」というんです。通信の名前も「ひまわり農園だより」となっています。今年度は、サポーターさんのお力をお借りしながら、ひまわり農園の活動を楽しく、そして、野菜を大事に育てていきたいと思っています。

夏野菜の看板を鈴木先生が作ってくださいました。その看板の土台は、富田学園さんからいただいたものです。そして、そこに、たいよう組さんが、かわいい野菜の絵を描いてくれました。子どもたちの絵が加わり、素敵な看板になりました。トマトも、横から見たもの、上から見たもの、それぞれに特徴があります。キュウリは花もついています。

よくわかっているなと感心しました。

今年度も、野菜が取れすぎたときに交換できるようなカゴを用意します。お互いに、必要な野菜と交換しながら、おいしい野菜を味わえるとよいですね。



バタフライピーってご存知ですか？・・・

昨年度3学期始業式の私の手品は、色が変わるお茶の手品でした。ホームページやお子さんからの話でご存知の方もいらっしゃるかと思います。その手品の種は、バタフライピーという植物なんです。昨年から園庭で育ててみたいと思っていたところ、保護者の方からいただくことができました。



園庭の幼児支援教室の前の花壇に植えてあります。

どんな花が咲くのか、色水遊びにも使えそうですね。今から楽しみです・・・。

園庭には、においのする草花も植えてあります。見つけてくださいね。

《6月の保育について》

【3歳児】

- いろいろな感触を楽しんで、解放感を味わう。
- 先生と一緒に自分の身の回りのことをしようとする。

【4歳児】

- 自分の思いや考えを先生や友達に伝えようとする。
- いろいろな素材に触れたり、身の回りの動植物に関心をもったりする。

【5歳児】

- 友達と同じ遊びをする中で、つながりを感じながら遊ぶ。
- いろいろな動植物に興味関心を示し、愛着をもって接する。

